



塩尻市辰野町 中学校組合立 両小野中学校

もみじ山 林業体験

自分たちの故郷の自然を自分たちで守っていこう



両小野 PR キャラクター「うとう」

「ブリリアント活動」と「アントレプレナー学習」

塩尻市北小野地区と辰野町小野地区にまたがる両小野中学校は、2011年度から、小・中一貫教育を行う「両小野学園」として、特色ある教育に取り組んでいます。

「ブリリアント活動」(地域人材の活用による文化活動)と「アントレプレナー学習」(起業家精神のもと、地域の課題を見出す探究的な総合的な学習)により、地域学校協働体制による「ふるさと学習(キャリア教育も含む)」が行われています。両小野 PR キャラクター「うとう」は、これらの活動の中で生まれました。

地域貢献型生徒会「夢プロジェクト」の実践

2017年度にはアントレプレナー学習で見出した地域の課題を全校生徒で実践する「地域貢献型生徒会」を発足させ、「夢プロジェクト」を推進しています。

これまで、県宝「油屋」の清掃、記念樹の植樹、町おこしイベント「小野宿市」への協力参加、災害募金活動などを行い、30年以上も続く「相吉もみじ山」の林業体験学習は、夢プロジェクトの一環として位置づいています。また、塩尻市体育協会主催のウォーキングイベント「日本土真ん中ウォーク」では、地域食材グループが酒粕を使ったクッキーをふるまい、地域参画グループは両小野のクイズ、スタンプラリーを企画しました。2023年度はSDGsに力を入れ、9月の「人権見直し週間」で多様性の認められる社会としてLGBTQについての生徒集会と講演会を開き、学び合いました。

これらの活動は生徒自身の「自己肯定感」を高め、「地域の一員」としての自覚を深めています。一方、生徒たちの取組の姿は、地域活性化の力となり、地域住民の大きな刺激となっています。

参考：文部科学省「学校と地域でつくる学びの未来」
https://manabi-mirai.mext.go.jp/search_case/files/2018hyousyou20-1.pdf

両小野中学校 HP

<https://www.fureai-cloud.jp/ryoono-j>

福祉教育のポイント

中学生も地域のために活躍している取り組みです。地域の活動を年齢も違う地域の方と一緒に学び、一緒に取り組むことで、お互いの得意なことを活かし、協力しあって続けていく活動につながっていきます。

原村立 原中学校

私たちの村で彫刻の森を仲間と共に

卒業生によるブロンズ像制作



地域の人の願いから始まったブロンズ制作

原中学校では、原村出身の彫刻家、清水多嘉示にちなみ、1980年のハケ岳美術館開館時から、学童彫刻の森に卒業制作であるブロンズを毎年一体ずつ設置しています。デザイン、像に添えられる詩、そして「奇跡」の題字の書、すべてが生徒によるものです。

ブロンズの制作は美術館の設立時に、村の子どもたちに「芸術に親しむ心を持ってもらいたい」「芸術を創りあげる感性を磨いてもらいたい」という地域の人の願いをもとにして始まった活動です。

キャリア教育「原村学」を柱に

原中学校では、キャリア教育「原村学」を柱に据えた総合的な学習の時間を年間を通して行っています。「原村学」は、ふるさと原村との関わりの中で自分を見つめ、自分の思いを発信する資質と能力を育む学習活動で、2017年度からスタートしました。

1年生は、「原村を知る」というテーマで、原村あるもの探しや実践大実習を通して、地域の特色やその良さに気づける場を設けています。

2年生は、「原村を学ぶ」というテーマで、村内での農業体験やハケ岳笠山などの体験的な活動を通して、地域に学んで、郷土への愛着や誇りをもてるようにしています。

3年生は、「原村と生きる」というテーマで、修学旅行を通して原村の良さを再認識するとともに、ブロンズ像製作と中学生議事を提案や発信の機会としています。3学年の「原村学講座」の一つ、「原中ワインをつくらう」講座では、地域の方を講師に、ワインぶどうの栽培からワインの醸造に取り組み、働くことの意義を学んでいます。

参考：広報はら 2017年10月号
https://www.vill.hara.lg.jp/fs/4/1/5/3/6/_/__.pdf

信濃教育会「原村を知り、原村で学び、原村と生きる生徒を育てる『原村学』」
<https://shinkyu.or.jp/wp-content/uploads/2023/06/4hiratsuka.pdf>

原中学校 HP

<http://www.hhjwww.suwa-ngn.ed.jp>

福祉教育のポイント

ボランティア活動を続けていくためには、「どんなことを大切にしているのか」ということを、活動に関わる人たちの思いや考えを確認したり、取り組む仲間と考えたりすることがとても大切なことです。